とにかく、もっと視点を上げよう。

この面接は、イケジの仕事内容や装置の開発方法を聞いているものではありません。

あらゆる質問を通じて、イケジが何を考えて業務に当たっているかを引き出してくれようとしています。

自分の仕事がどのように会社／事業／ヘッド開発部門／担当装置　に影響しているか、

どのように貢献すべきか、　ということを示せないとダメ。

質問を繰り返しているうちに、広い視野で考えて会社に貢献しようとしているか、自分の周辺だけしか見えていないかは　わかってしまいます。

以下に、安田ならこう考えるという例を記載しておきます。

この通りに覚える必要はないけど、意味することは頭に叩き込んでおいて、あらゆる問いに応用できるようにして下さい。

がんばろう！

■印字検査装置とは何を評価するもの？

　ヘッドを装着して紙などに印刷をおこない、ヘッドの性能を評価する装置です。

　製品開発においてヘッドと本体が並行開発されますが、ヘッド試作が上がった時点ではまだ本体がありません。よって新規ヘッドの初期検討にはこの装置が必須になります。

製品開発のサイクルに追従するため、装置の大部分が汎用に出来ていて、一部のメカ、基板、ソフトの修正だけで様々なヘッド種に対応可能な設計になっています。

■ただ印刷するだけの装置なの？

　印字だけなら一般の製品本体でもできますが、

　この装置は剛性や駆動精度が格段に高いので、純粋なヘッドの性能だけを評価することができます。つまりプリンタ本体の誤差などの影響を排除できます。

　ヘッドの駆動条件も任意に設定できるので、要素検討にも使用できます。

■課の方針　目標は？

　評価装置開発機能を強化し、デジプリ事業の収益力改善と生産性向上に貢献することです。

　私が設計する評価装置の機能や使いやすさを向上させることで、

　ヘッド開発を強力にサポートすることができると考えています。

　（↑これは　『どうやって事業に貢献するか？』　にも使える答えだね）

■装置開発で最も重要と考えている事は？

　ヘッド開発に必要な機能を必要な時期に提供することです。

　このためには部門間での仕様調整を確実に行い、手戻りがないようにすることが重要と考えています。

■どんな技術者になりたいか？

　将来は装置システム全体を把握し、開発を主導できる技術者になりたいと考えています。

　ソフト技術のレベルを上げるのは当然ながら、電気やメカの知識も高めたいです

　日頃のPDCAを通じて、装置システムをどうやって立ち上げるかも習得したいと考えています。

■事業環境の変化への対応

　（コロナで語るなら・・・）

　コロナをきっかけに働き方が大きく変わろうとしています。

　プリンタの在り方も変化していくので新たな機能や性能が求められると考えています。

　ヘッドもより高度化、複雑化してくることが想定されるので、評価装置も先回りで開発する必要があると考えています。

■後輩（メンバー）の指導

　まず業務の目的や方針を共有した上で、作業を指示するように心がけています。

　基本的に本人に任せますが、毎日状況をチェックして必要なサポートをしています。

　（放置は絶対にNGです。）